

航空機搭載レーザプロファイラがとらえた岩手山（４）

—DSM (Digital Surface Model) と DTM (Digital Terrain Model) の比較—

データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

データ収集：アジア航測（株）

前掲の DSM と DTM を構成する高度データの差をとって「高度差区分図」を作成してみました。樹木の繁茂状況や裸地の分布状況等がよく判読できます。例えば、赤色系の部分は樹木が密集し、樹高が高い箇所（10m以上）です。青色系の部分では植生が少なく、裸地になっている箇所も確認できます。季節別に高度差区分図を作成・比較すれば、今までにない視点から時系列分析が展開できるはず。なお、本号（77号）と前号（76号）で紹介した航空機搭載レーザプロファイラの観測原理等の詳細は、以下の URL を参照して下さい。

アジア航測（株）：http://www.ajiko.co.jp/service/space/03_raser_bird.html

観測日：2002年8月23日

岩手県岩手山西側斜面；鳥瞰図

